

精索静脈瘤手術による精液所見の変化の検討

1. 研究の対象

2024年4月から2026年3月までに当院および共同研究協力病院で精索静脈瘤の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

研究目的

精索静脈瘤治療の有効性を明らかにすること

研究方法

2024年4月から2026年3月までに、大阪大学泌尿器科および共同研究協力病院で精索静脈瘤の治療を受けた患者を対象とする。

手術や薬物治療前後の精液検査所見（精子濃度、運動率、前進運動率、非前進運動率、精子不動率、正常形態率、運動精子濃度、前進運動精子濃度、高速前進運動精子濃度、低速前進運動精子濃度、SMI（Sperm Motility Index）、平均精子濃度）と男性ホルモン値を後方視的に比較検討する。

研究期間

研究機関の長の実施許可日～2030年3月31日

利用又は提供を開始する予定日

2025年5月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、精液 等

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

(利用する者の範囲)

研究代表機関：大阪大学医学部附属病院 泌尿器科 竹澤健太郎

共同研究機関：大阪けいさつ病院 泌尿器科 稲垣裕介
大阪中央病院 泌尿器科 木内寛
大阪急性期・総合医療センター 高尾徹也
うめだファーティリティクリニック 宮川 康

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：大阪府吹田市山田丘 2－2， 大阪大学大学院医学部泌尿器科

電話：06-6879-3531

担当者の所属・氏名：器官制御外科学講座（泌尿器科学）・竹澤健太郎

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学講座（泌尿器科学） 竹澤健太郎

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学講座（泌尿器科学） 竹澤健太郎